

## 令和6年第2回奥出雲町総合教育会議 会議録

日 時 令和6年5月10日（金）  
開 会 午前11時30分  
閉 会 午後0時25分  
場 所 奥出雲町役場横田庁舎 3階 大会議室  
出席者 糸原保町長 川本健二教育長 福田充雄教育長職務代理  
荒金勇吉教育委員 谷尻圭子教育委員、松崎百合子教育委員  
景山利則議長、石原武志副議長、大垣照子議員、藤原充博議員  
川西明徳議員、内田雅人議員、小田川謙一議員、内田裕紀議員、  
高橋恵美子議員  
事務局 江角啓総務課長 高尾昭浩教育魅力課長 江角浩司教育魅力課長代  
理、青木秀樹教育魅力課長補佐、石原啓子企画員、廣田駿二主任主  
事、内田直輝主任主事

江角総務課長

※開会宣言

糸原町長

(挨拶)

※多方面から意見を伺うため、奥出雲町総合教育会議の設置及び、運営に関する規則第5条の規定に基づき、意見聴取のため仁多地域選出の議員の皆様に出席いただいた。

<協議・調整事項>

糸原町長

(1)仁多地域統合小学校の服装について

児童の服装についてご意見を頂戴します。

高尾教育魅力  
課長

※経緯説明（事務局から資料により説明）

資料1：服装に関する保護者アンケート（1回目）集計結果

資料2：服装に関する保護者アンケート（2回目）集計結果

資料3：仁多地域統合小学校の児童の服装について（意見書）

1、仁多地域統合小学校児童の服装について、保護者への2回のアンケート結果について資料1、資料2を用いて説明。

(1)1回目アンケートにおける推進委員会意見：制服の価格目安などの情報が、ないままの回答集計結果で判断をしてよいのか。現状の制服の継承ではなく、ジェンダーレスの制服を意識すべき、アンケート結果をもとにメリット・デメリットを整理して、共有すべきなど意見多数。

	<p>(2)再アンケートの過半数の意見を、部会の意見とするということを確認</p> <p>2、仁多地域学校再編統合推進委員会のPTA部会の意見書について資料3で説明。「制服」とすべきという意見書。</p> <p>(1)意見書の補足事項：統合後も、統合前の制服を着用できるよう、経過措置を設け、保護者の経済的負担の軽減をはかっていただくようお願いする。</p> <p>経緯の説明は以上。</p>
糸原町長	事務局からの説明の通り、推進委員会としては、制服との意見をいただいております。なお、本来ですと、服装については、学校と保護者で相談して決めていただくものですが、学校再編にあたって町の方で最終決定をすることとなっております。そこで、この場で協議をさせていただき、決定させていただきたいと思いますので、それぞれ、ご意見をいただきたく思います。それでは、お一人ずつ、ご意見をいただきたいと思っておりますので、教育長の方からご意見をいただきたいと思います。
川本教育長	先ほど事務局からも説明がありましたように、アンケートについては1回目の内容で不足があったということで、2回目のアンケートを実施。そのアンケートをする際には、2回目のアンケートをもって決定をするという順を踏みまして決定しております。私は、この内容につきましては尊重していきたいと思っています。従いまして、制服ということでお願いさせていただいたらと考えています。
福田職務代理	個人的には、横田と同じ私服がいいだろうと思ってずっときました。これまでの小学校の状況を見てきたときに横田の場合は、長い間、私服が多くなったわけです。逆に仁多の場合には、ずっと制服できていました。その意識が多分、そんなに変わってなかつたのだろうという思いがします。個人的には私服がいいだろうと思っていたのですが、制服の方がいいという親さんの意見が多いのであれば、基本的には親が子どもに服装を与えるということを考えれば、「親の意見は尊重すべきかな」という意見です。「すべき」という意見ではありません。「すべきかな」という意見です。そういうふうにご理解いただければと思います。
荒金委員	アンケートの結果は、重く受け止めなければいけないとは思います。個人的には、制服が小学校の教育上必要なものかどうかという点で考えたら、疑問符がつきます。制服が良い、私服が良い、そういう議論ではなく、教育上必要か必要ではないのか、この観点からだと必要ないかもしれないと思っています。これが、実際に登校時のみの着用なのか、学校で実際に制服となった時に、学校でまた体操服に着替え、また下校時に着るものなのか。あるいは、入学式、卒業式のためだけなのか。それが教育上どういう効果を出すかという点では、制服が小学校の

	上では必要とは言い切れないと思います。しかし、アンケートの結果は、重く受け止めなければいけないと非常に苦しい思いをしています。
谷尻委員	保育所の時から制服なしできたので、あの時もこんな議論をしたのですが、子どもの自由をもっと認めていいのではないかという思いがあります。今回、学校が新しくなれば自由でいいのではないか、自由に子どもたちが選んだ服で学校へ来て、勉強して帰ればいいと思っていました。しかし、保護者のアンケート結果を見たときに、保護者の皆さんにはやはり制服が欲しいと思っておられるのかなと思いました。子どもたちの意見はどうなのかということは、とても気になりますが、アンケートの結果がこういう状況ならば、制服にしないといけないかなという今の気持ちです。制服にしても、ジェンダーにこだわらない、多様性のある、スラックスだったり、スカートだったりという、そういうものにして欲しいですし、ジャケットだけでもいいのではないかという思いがしたりします。それは、今後決まると思いますが、今のこのアンケートの結果を見た時点では、やはり保護者の意見を尊重してあげなければいけないと思っています。
松崎委員	個人的な意見は、自由服がいいだろうとは思っています。理由としては、今、文科省が掲げている令和の日本型教育の一番に来るのが、個別最適化です。個々の成長や能力に合わせて、丁寧に指導していく。その中でも、子どもの主体性だったり、対話性だったりを深めていこうというのが今の文科省の方針です。この保護者の制服にしたいという意見の中の一一番多かったのが、毎日の服選びに困らないという理由で、若干、時代と逆行しているなという印象を受けてはおります。ただやはり一番大事なのは、どんな服装であれ中身が一番大事なので、保護者が2回も熟考を重ねてこういう結論を出されたので、制服でいいとは思っていますが、個人的な意見としては、以上の通りでございます。
石原議員	制服について、私は、自由でいいと思っております。40年前、私もPTAの一員として、制服議論をしたことがあります。このアンケートを見て、皆さんおっしゃられるように、びっくりしたんですが、変わっていないです。要は、制服を着ておけば、大丈夫という感覚です。ただ、時代でございますので、ジェンダーということもありますですが、基本的には、自由でいいだろうと、その方がいいのではないかなど私は思っています。
小田川議員	非常に難しい問題だなというふうに思っているのですが、制服・私服の議論をどこまでされたのか。ただ、アンケートをとったということなのか、本当に保護者の中で全体会議とかされて、いろんな意見を出した中で、結果、こういうアンケートの結果になったのか、若干疑問はあります。どちらかといえば、私も私服の方がいいんじゃないかなと思っていたんです。制服を着る機会、どういう時に制服を着るのか。1日、朝、家を出てから帰るまでずっと制服を着ているのかとい

	<p>うと、おそらく、それはないだろうなと思います。けじめをつけるというようなことで、服の着替えもあるのではないかなとは思います。さきほど、谷尻委員も言われましたけれども、今までの既成の制服ではなくて、あれがあそこの学校の服だよというようなことが分かるものでさえあればいいのではないかということ。あとは、授業中については、違う服装。これも固定されたものになるのか、あるいは、自由なものになるのか、そこら辺りもちょっとわかりませんが。どこかでけじめをつける部分では、制服という形のものが必要なかというふうには思うのですけど、基本は私服でいいのではないかなと思っています。しかし、現保護者の意見は、参考にし、重視すべきではないかと思っています。</p>
景山議員	<p>個人的には、私服でいいかなと思っていたが、こここの資料の中にデメリットというのが書いてありますが、いろんな家庭があります。そうした中で、毎日着替えてくる子もいれば、同じ服を着ている子もいたりすると、競争が起こったり、いろんな弊害もあるというふうに思います。制服の方は、そうしたことがないで、私はいいかなと思います。しかしこれは、あくまでも私の個人的な意見です。基本的には保護者の皆さんが出された結論、これを尊重すべきだと私は思います。</p>
藤原議員	<p>制服は、私は会社を経営しておりますので、今から、30年、35年くらい前に、制服を作りました。上着、ベスト、キュロットスカート、普通のスカート、4種類くらい揃え、それを自由に着てくださいとしました。下のシャツだけは、自由です。例えば、今日は、自分はベストで行きたかったらベストで来る、キュロットスカートが良かったら、スラックスが良かったら、そういう形で、会社は、今日はこれを着てくださいということを言わなかつた。そういうやり方をして、職員の皆さんには喜ばれました。多少でも、職場でおしゃれができるという感覚になります。そういう経験から言うと、制服にしてもいいです。制服は制服で、みんなの考えがまとまっていればいいんです。そういう多様性も含めて、ジェンダーレスの制服を意識しないといけないとかなどを含めれば、色々エンジニアリングができる、変化ができる服装を考えた方がベターじゃないかと思います。スラックスがあつて、スカートがあつて、ベストみたいなものがあつて、上着がある。ただ、そうすると、非常に高い。普通と比べると約3倍から4倍ぐらいかかりました。</p> <p>では、現在は、上着だけは静電気の関係で貸与しますが、下は自由です。ですから、一概に全部こうでないといけないではなくて、制服でも、上手な使い方、買い方をしてはどうでしょうか。例えば、上着だけ、ベストだけということも一つの考え方ではないかと思います。だから、逆に自由服ではないかといわれるかもしれないですが、制服として、そういう考え方を持たれたらどうかと思います。</p> <p>それからもう一つ。制服は、子どもが少ないからいくら高くなても町が負担すれば問題ないです。そういうことも考えていただくと、奥出雲町に子どもが来る機会が多くなると思います。町長、「制服だったら町がみます」、みたいなアイ</p>

	ディアを出してください。そうすると、横田の人が、あらー、しまったなと言われますから。
川西議員	アンケート、それから、事務局の要約、読ませていただきました。一番制服問題で重要なのは、ジェンダー平等、ジェンダーレスだと思います。今の時代にあった発想だと思います。経験的には、60年前に義務教育を4人がうけており、服が大変でした。当時、問題になったのは、セーラー服。軍服の地名の入ったものというようなことで不評でしたが、子だくさんの家の子どもにとって、制服は非常に便利でした。ジェンダーのこと、親と子どもの意見、それから、経済的なことです。自由な金のある学校に行く子どもたちは、ファッショナ化していると誰かが指摘していました。作る人が世界的な著名な人のデザインでというようなことです。この私の服は、数万円で買えますが、制服は、そういうわけにはいかない、高いです。高いから、町は助成をして、教育無償化の中の一環として手当てしていました。もう1つ経済的な問題について重視して欲しいことがあります。制服組合という組織が奥出雲町にはあります。その1品が高いから商売になるんです。これがなくなれば、売り上げに影響ができる制服業界、被服の業界です。教育費が、地域の経済に貢献するということも頭に入れて欲しいと思います。結論から言います。自由服は当然、自由ですから、自由の中に制服も入れてください。制服でなければいけないという学校制度にしないでください。
大垣議員	この制服の問題については、たいへん気になっていました。アンケートに表されている、メリット、デメリット、確かに私が思うようなことが全部書いてあります。基本的には、自由服というか、個人の好きなものを着て通うのが良いと思います。なぜかというと、資料にも書いてありますが、洗濯がしやすいとか、体に合ったサイズのものが當時自分で選んで着られるということです。制服は、皆さん言われるように、確かに高いです。また、小学生はものすごく成長が早いので、1年1年体が大きくなっていくと、最初の制服は着られなくなるので、どうしても最低2回ぐらいは、買い替えないといけないと思います。本当に保護者の負担は大きいと思います。しかし、保護者の結果は、制服が良いということなので、否定はしません。けれども、子どもの体が大きくなって窮屈な制服を着ながら学校に通うというのはかわいそうなので、自由服を着てきてもいいですよ。式典とかあるときは、ちゃんとそういうのを着てでられたらしいし、普段は、自分が着たいものを着て行ってもいいよみたいなことが、あってもいいと思います。ただ、やはり保護者さんの考え方もありますので、これにしなさいみたいなことはなかなか言いづらいと思います。基本的には、自由服がいいと思っています。
内田雅人議員	このアンケート結果、それから、PTA部会からの意見書。本当に2回もアンケートをされて、熟慮を重ねられての結論だなと思いますので、議員の立場でこれを否定するというのは、違うかなと思っています。これを重んじるのが、妥当で

	<p>はないかと思います。回答が 153 ということで、多くの世帯からの回答が出ての結果。それから、また、未就学児の親さん、小学生の親さんも両方制服の方が多いということで。こういうのは、重んじるべきではないかと思います。制服にしてから、自由でいいよというのも、学校としても難しいのではないかという気もします。そこら辺りは、学校で決まったからには、それに沿ってやっていただくのがいいのではないかと思います。この意見書に沿って進めた方がいいのではないかという意見です。</p>
内田裕紀議員	<p>学校は形から入るべきだと思っていますので、制服という形で入った方がよろしいのではないかと思います。ジョーホー奥出雲で卒業式、入学式を見ていました。確かに、入学式の時に制服を着ている子は、僕も 60 年前そうだったんですが、2, 3 センチ長い。だから、そういう形で、制服を買っていただいて、親から、着させてもらったのですけど、やはり、冠婚葬祭も含めて、制服の方が非常にいいのではないかと思います。ただ、今は、生徒数が少なくなっているのは事実で、せっかくそういうなかで、先ほどからもあがっていますが、おんなんじ揃えるのであれば、町の方で用意していただければ、それを例えれば、きりかえしでも、みんなで交代で、着こなしても十分に対応できるのではないかと思います。統合というのもこちらが勝手に決めたことではないですか。そういう意味では、生徒にどうのこうのではなくて、こういう形でやりましょうというふうに提供した方がいいのではないかと思います。私はそういう意見です。</p>
高橋議員	<p>実際に、子どもたちが制服を着る時というのは、朝、家から学校へ行くまでの時間のみのような気がします。あと、式典等。あと、夏は、暑いですので、もちろん、着ない。いろんな理由を、着るという視点から見たときには、需要が少ない気はします。個人的な考えを述べさせていただきますけど、私も自由でいいと感じます。小学校ではないですが、町外のある学校では、制服を着てる子もいれば私服の子がいて、学校へ行くと体操服に着替えるわけです。そうすると、家からいってきますと出でていってすぐ体操服に着替え、学校では、みんな同じスタイルでいるわけです。そういうことを考えると、私は、個人的には自由でもいいのではないかなど感じております。私服を選んだ理由というところで、やはり、制服の値段が高いです。経済的負担というものを少し考えたときに、ニュースの場、子供さんが小学校を終わられた後の制服を良い具合に活用できる場を少し考えていくのも 1 つの手かなと思っています。でも、実際、関わっておられる保護者の方の意見というのは、大事な意見として捉えていかないといけないかなと思っています。</p>
糸原町長	<p>ありがとうございます。ご意見をいただきました。私も前回、横田小学校のことで話し合ったとき、このアンケートの結果が全然違っていて、あちらは自由服がいいというところでです。だいたい一緒ぐらいの割合で反対で、私服がいいと</p>

	<p>ということです。横田地域は、そもそも私服の学校が多くて、制服は現在は八川だけでした。鳥上も制服だったですね。横田、馬木については、私服で、かなりなれておられるので、私服だ、みたいな形でした。アンケート結果が、もう少しこの時代私服が多いと思いましたが、仁多地域はかなり、制服という意見が多く、福田委員が言われたように、確かに今までの考え方というのがかなり強かったという気がしています。委員の皆さんには、個人的にはかなりの方が私服でもいいではないかという意見をいただいたとは言いつつも、今のPTAの皆さんとこれから就学される皆さん親さんとしては、制服というご意見が多かったというところでございます。そのところを見てご意見として、ジェンダーの話もいただいたり、上着だけでもいいではないかという話もいただいたりした中で、統合推進委員会でも議論は、かなりされたということも踏まえ、基本的にはアンケート結果をもとにということでございます。</p>
福田職務代理	<p>議論の中で、親さんが制服というのを、どういうイメージをして、この制服というふうになったのか、そのことをお話ししていただきたいです。制服と言うと多分、今のものをイメージして書かれたのかなと思います。だから、親さんの制服というイメージがどうなのかを、はっきりしてからないといけないと思います。今、いろいろな話がでましたが、制服の中で上着だけでもいいではないかとか、ジェンダーの話もでました。文書の説明の中では、主体については、6月以降で、具体的に考えますという話です。その制服というのをどう捉えるのか。基本的には、制服はみんな一緒、それが制服なのです。それがバラバラでもいいという話になれば、これは制服とは言わないので、その制服という言葉が、どういう意味なのかを明確にしたうえで決めないと、これ以上多分意見がいえないというふうに思います。</p>
高尾教育魅力 課長	<p>制服のイメージでございますけども、個々の保護者の皆さんがどういうイメージをとらわれているのかはわかりませんが、推進委員会の中では、制服のタイプを説明しています。一番わかりやすいのは、これまで通りの学生服タイプと言われるものがあるということをご説明しています。今後の流れについては、ブレザータイプでジェンダーフリーのものがあるということ、もう1つは、イートン服といって、前と付け替えられて下のお子さんでもどちらでも使えるようなイートン服タイプと3つがあるということは、部会の中でもご説明をさせていただきました。価格についても調査をして、お知らせをしています。事務局の想像でございますが、保護者の皆さんには、既存の学生服タイプ、また、イートン服タイプの小学生のものをイメージされていたのかと思っています</p>
糸原町長	<p>そういういた部分のところは、非常に難しいところがあろうかと思います。なんか、他に言いたりないことがある方、ありますか。</p>

藤原議員	<p>スカートの仕様ですが、女子が冬などスカートで通学しているのを見て、本当にかわいそうなような時があるのです。だから、その辺の自由度というものを考えて、スラックスでもなんでもいいと思います。しかし子供は、スカートをはいていいかないといけないと言います。中学生になるとまた、おしゃれの関係があつたりするかもしれません。下は自由で、上だけ制服をという考え方をすればいいと思います。その方が、ジェンダー関係も含めて対応がしやすいし、町が負担されるにしても金額が少なくて済むと思います。</p> <p>子どもが少ないから、これぐらい売りにしないと、消滅してしまいます。</p>
糸原町長	<p>負担の関係は、また別にいたしまして、ご意見は他にもうよろしいですか。少し言ひ足りないという方おられますか。皆さんのご意見は、個人的には自由服がいいだらうというご意見も伺いながら、保護者の皆さんは、制服という答えを、委員会の方でとりまとめられて、要望書を提出いただいている中で、それは尊重しなければいけないかなという意見も多かったということです。本日いただいたご意見を踏まえながら、基本的にはPTA部会からいただいた制服というご意見を採用いたします。横田地域は私服ですが、統一する必要はないと思いますので、仁多地域については、意見書の通り制服ということにさせていただき、後は、本日いただいたご意見も参考にしながら、詳細を決めていただくということで、決定したいと思います。よろしいでしょうか。</p>
	<p>(全員から同意あり)</p>
糸原町長	<p>仁多地域統合小学校の児童の服装については、制服ということで決定させていただきます。あとは、これからのご議論で詳細を決めていただければというふうに思います。</p>
	<p>(2)仁多地域統合小学校の校名について</p>
糸原町長	<p>議題の2番目、仁多地域統合小学校の校名についてです。</p> <p>この総合教育会議は、原則、公開ではありますが、校名について、出席者の皆様のご意見をお聞きし、最終的には、町の方で、私の方でも判断させていただいて、来る6月定例議会に奥出雲町立小学校及び中学校の設置に関する条例の改正について上程させていただきたいと考えております。ここからは、非公開したいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
	<p>(全員から同意あり)</p>
糸原町長	<p>ご異議なしということで、これより、会議は非公開とさせていただきます。なお、本会議の会議録については、非公開の部分については、発言者の名前を伏せて、どういうご意見や意見交換があったのかは、公開をさせていただきたいと思</p>

	<p>いますので、ご承知のほどをよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>それでは、仁多地域統合小学校の校名について、同様に、ご意見を頂戴する前に、これまでの経緯について事務局から説明させます。</p>
高尾教育魅力 課長	<p>※経緯説明（事務局から資料により説明）</p> <p>資料4：仁多地域統合小学校（仮称）校名募集 集計結果</p> <p>資料5：応募理由</p> <p>資料6：仁多地域統合小学校（仮称）校名募集 1次選考結果</p> <p>資料7：仁多地域統合小学校（仮称）校名候補 2次選考結果</p> <p>資料8：仁多地域統合小学校の校名候補について（意見書）</p> <p>1、奥出雲町在住の方、奥出雲町に通学・通勤されている方、奥出雲町出身の方を対象に校名を募集。資料4、資料5により、推進委員会総務部会にて、1次選考2次選考を実施し、資料6資料7の結果がでた。</p> <p>2、その結果をもとに推進委員会総務部会部長から資料8の通り、3候補の校名について意見書が提出された。候補の仁多、爾多四季、六成の3候補が記載されている。</p> <p>経緯の説明は以上。</p>
糸原町長	それでは、これについてのご意見をいただきたいと思います。
委員A	校名の件につきましては、先ほど、事務局の方から説明がありましたように、いくつも会を重ねながら、先般、総務部会から出された通りでございます。圧倒的に仁多というのが多く、私もこの案に賛成でございます。
委員B	横田の場合には、出雲の国風土記から「よきたばかり」という言葉の中から選びました。仁多の場合には、漢字で仁多、読み仮名は「にた」、仁多と名付ける由来は、「にたしきおくに」という風土記の記載がございますので、同じく、そこから選んでいきたいということで、1番目の漢字の仁多、読み仮名は「にた」ということで、私は推薦させていただきたいと思います。
委員C	この校名候補の投票結果に仁多とあります。この校名でいいと思います。横田小学校、横田中学校。仁多中学校、仁多小学校。非常にすっきりとバランスもとれていて、いい形になると思います。仁多でお願いしたいと思います。
委員D	この校名募集の集計結果のように、やはり「にたしきおくに」の仁多と今、委員Cが言われましたように、仁多中学校と連動した動きの中で、仁多というのが、一番親しみやすくていいのではないかと思います。

委員E	同じく、選考理由で要約されている意見にすべて賛同させていただいて、一番多い仁多でいいと思います。
委員F	同じでございます。なにもいう事はありません。仁多でよろしいです。
委員G	仁多でいいと思います。
委員H	仁多でいいです。今、仁多米というのが全国ブランドですので、あえて、他の新しい名前にすべきではないと思っています。仁多で結構です。
委員 I	皆さんのアンケートの中で、理由で出ていますが、私も同感だと思うのは、数年後というか、10年先ぐらいには、小学校も1つになるのではないかなどというふうな危惧をしております。町民感情があってそれはできないかも知れないですが、そういう最終的に消滅するような地域でございますので、できれば奥出雲小学校というような名前の方が、ベターじゃないかと思います。将来的なことを考えていくと、と言うように思っています。ただ、ここで皆さんに認定された中で選ぶということになれば、やむを得ず、仁多ということになると思っています。
委員 J	手順を踏まれて、時間をかけて、今、決定されようとしていることについて意義はございません。ただし、1つ、個人的な話に若干なりますけども、もともと、現在地に学校が建つのは、三成小学校の校舎の耐震性というところで、ずっとあそこに作ってほしいという要望を出していました。統合してくださいと言うことで、取り組んできたわけではございません。校名について、なるほど、説得力のある校名になっておりますが、そういった意味で、絶対賛成という事を言っておりません。弁解でございます。
委員 K	校名についてですが、平素からいろいろなご意見があるというのは、伺っておりました。仁多、横田とすごくわかりやすく、昔からなじみのある仁多なので、仁多地域は、全部1つになるということで、私も仁多小学校がいいかなというふうに思います。
委員 L	校名募集から手順を踏んで、本当に議論されて。圧倒的に結果、仁多ということで、賛成でございます。
委員M	仁多で結構です。
委員N	仁多でよろしいと思います。
糸原町長	ありがとうございます。かなりの方で、仁多でいいではないかというご意見が

	<p>多かったと思います。議論ということではなく、そういうご意見をいただきました。これで決定ということではなく、これからまた手順がございます。貴重なご意見をいただきありがとうございました。最後になりますが、町立学校の設置及び、管理の権限は教育委員会にあります。教育委員会の皆さんには、6月定例議会に上程する校名については、今日、ご意見を皆さんからいただきましたので、私の方へ一任いただくということでよろしいでしょうか。</p>
	(委員全員の同意あり)
糸原町長	ありがとうございます。最終的には、今日の皆さんのご意見を踏まえまして、校名候補を決定し、6月定例議会に上程をさせていただき、議会の判断を仰ぎたいと思います。本日は、ご多忙のところをご出席いただき、ありがとうございました。それでは、これをもちまして、総合教育会議を終了させていただきたいと思います。ありがとうございました。事務局、よろしいですか。
藤原議員	1点よろしいですか。校歌はどんな感じですか。
高尾教育魅力 課長	校歌は、今年度、進めさせていただきたいと思います。まずは、横田地域と手順を同じにして、校歌のフレーズ等々の募集等を行いながら、また、作詞・作曲をしていただく方の選考を本年度進めていきたいと考えているところです。
藤原議員	これについて、出来れば今の時代に合ったような校歌を作られた方がいいと思います。文学調の格式の高い、川の流れが、山が、青い、緑がというような校歌ではなくて、子どもたちが気楽に口ずさめるポップ調の校歌。竹内まりやさんに作詞を依頼するとか、official 髭男dismさんに頼むとか、新しい発想をすれば、そういう歌を、子どもたちも喜びます。それから、地域もまた、PRすることができると思うんです。消滅しかけているから、とにかく、何か目立って行かないと、アピールするようなことを考ないといけないと思います。なかなか難しいかもしれないですが、一生懸命そういう事を考えてもらった方がいいと思います。ここに教育委員さんがおられるから、ご意見を聞きたいです。
川本教育長	校歌については、本当、一生モノといいますか、私も小学校の時を思い出しながら、今でも歌うことはできます。そういう意味も含めて、やはり横田についても選考するときに、フレーズを募集したということもございますし、作詞・作曲の方は、地元の方が身近なところでいいのかなというところで、私自身は考えています。
福田職務代理	おっしゃる通りだと思います。校歌はそれを作られた時の時代反映をしていて、例えば、高尾の校歌は、日本の本のみ民たれという、それは、そういう時代でした。

それをずっと大事にして歌つてきています。大事にしていくのが、多分、校歌だろうというふうに思います。藤原議員が言われるよう、今の時代にふさわしい、歌詞とメロディを選ばないといけないです。それは、選定していくものの責任というふうに思っています。そこら辺を大事にしてもらって、いい校歌を作つてもらえればありがたいと思っています。

糸原町長

ご意見をありがとうございました。それでは、これで終了をさせていただきます。今日は、本当お忙しいところ、本当に貴重なご意見ありがとうございました。

※閉会宣言

### 会議録署名

糸原町長

糸原保

川本教育長

川本健二